

# デジタルで聴く明治・大正・昭和の音

## 「歴史的音源」

### 歴史的音源とは

1900年代初頭から1950年頃までに国内で製造されたSP盤及び金属盤等に収録された音楽・演説等の音源のことです。歴史的音盤アーカイブ推進協議会（HiRAC）によってデジタル化され、国立国会図書館が配信しています。

### 歴史的音源を聴くには

国立国会図書館のホームページから「歴史的音源」専用ページへ進むと、音源の検索ができます。およそ1000点の音源は、どなたでも自由に聴くことができます。他の48,700音源については、国立国会図書館の配信提供に参加した公共図書館等で聴くことができます。小野市立図書館でも、2015年9月からご利用いただけるようになりました。

（参照）国立国会図書館 歴史的音源専用ページ <http://rekion.dl.ndl.go.jp/>

### 館内でもご利用いただくには

ご利用の際には、カウンターまでお越しください。調査・相談カウンターで、職員立会いのもとご利用いただけます。尚、複製やダウンロードはできません。

### 歴史的音源の種類

音楽（器楽、声楽、歌謡曲、民謡、唱歌、小唄など）の他に、演劇、演芸の録音（近代劇、歌舞伎、落語、漫才、講談、浪花節など）、演説、講演、実況、効果音など幅広い音源があります。兵庫県関連では、宝塚歌劇のレビュー「モンバ里」（1937年）や篠山民謡「でかんしょ」（1932年）神鍋民謡「そうだろ節」（1956年）などがあります。

